

ルーテル学院報 Luther No.10

がまだせ熊本 がまだせルーテル



復旧工事が進むルーテル学院中学・高校本館をバックに

4月に発生した熊本地震により、各地で甚大な被害が発生し、尊い生命が失われました。心より哀悼の意を表します。また、被災された多くの皆様にお見舞い申し上げます。

本学院も大きな痛手を受けました。九州ルーテル学院を象徴するヴォーリス建築事務所（ヴォーゲル設計）による中高本館の屋根の上部が崩れ、また礼拝堂、大学棟等でかなりの被害を受けました。

しかし、卒業生の皆様をはじめ、各企業及び関係団体の皆様からのあたたかい励ましとご支援により、すべての教育現場において5月中旬までに再開することができました。

ここより感謝しお礼申し上げます。

完全に復旧するまでには、もうしばらく時間がかかります。本学院では、園児・生徒・学生の安全、安心を最優先しながら学院業務の完全再開に向けて、皆様のご加護とお導きを信じて祈りつつ、全力を尽くして参ります。

理事長 坂根 信義

Contents

学院 News	2～4
熊本地震から4ヶ月を経て	5
ルーテル学院ヒストリー	6～7
寄付のお願い・会計報告	8



九州ルーテル学院長 就任にあたって

この4月より清重前院長の後任として就任致しました内村公春と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

就任そつそ熊本地震という大変な試練の直面することになりました。改めて天に召された方々に心からの哀悼の意を捧げるとともに、全壊や半壊等の住居の被害を受けた方々に心からのお見舞いを申し上げます。

さて、こうした試練の年となりましたが、学院は創立90周年の節目も迎えます。これまで神さまに支えられ、学院が歩んで来ることができたのは本当に恵みです。

この90年を振り返りますと、熊本地震に匹敵するような、あるいはそれ以上の試練に直面することもありました。しかしそれぞれの時代の教職員の方々、在校生の方々、また卒業生の方々、保護者の方々、神さまに支えられながら、心一つにその試練を乗り越えて来られたのです。こうした過去の歩みは、これからの学院にとっての大きな励みです。そしてその基盤にあるのが創立者エカード先生の願い、思いを示したヨハネによる福音書10章10節b「わたしが来たのは、羊



が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである」という学院聖句であり、「感恩奉仕」という校訓です。ここに学院が目指す、「世の光、地の塩」として社会を支える人材の育成という教育の原点が示されているのです。この学院の教育の原点を踏まえ、貧しき器ではありますが、神さまに祈りつつ、学院のために力を尽くしたいと思えます。



いよいよ 90周年を迎えます。

本学院はキリスト教精神に基づく女子教育を目的に、1926年九州女学院として創立され、今年で90周年を迎えることとなりました。

今年度の初め、熊本地震という大変な試練を受けましたが、神さまのお支え、そして皆さま方のご支援・ご協力を糧にこの困難を乗り越え、世に役立つ人材を育成する努力を続けてまいります。

つきましては皆さま方への感謝の意を込め、下記の通り、創立90周年の記念式典、並びに感謝会を執り行います。

神さまの恵みがあふれる学院となるよう、今後ともご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

創立90周年記念式典・感謝会

日時 2016年10月3日(月)

1 記念式典 午前10時～12時15分

会場 熊本県立劇場

記念礼拝 (午前10時)

記念講演 (午前11時)

熊本県立劇場館長 姜 尚中氏

2 感謝会 午後6時～8時30分

会場 ホテル日航熊本



学長就任にあたり

はじめまして。4月より九州ルーテル学院大学学長に就任いたしました広渡です。着任後すぐに熊本地震が起こり、大学は校舎に大小の被害を受け現在も一部修復中ですが、学生・教職員が全員無事であったことが何よりの救いでした。1か月後に授業を再開しキャンパスに久しぶりに学生たちの元気な声が戻ってきた時は、教職員一同、感謝の思いでいっぱいでした。

2016年度は、地震によって大変な幕開けとなりましたが、学院創立90周年を祝う記念の年です。創立者によって始められ、多くの困難を乗り越えて受け継がれてきた学院の長い歴史、そしてこれからも未来に向かって続いていく学院の歴史の最前線である大切な「今」を担う私たちであること

を思わずにはいられません。「時」はただ流れるだけでなく、源があり、目指すところ

があります。「時」の源である神



さまが、学院の始まりの時からいつも共に歩んでくださったことを覚え、その目指すところをしつかりと確認しつつ、私たちに託されている「今」を担っていきたいと思います。特に震災を経験した私たちは、これまで当たり前と思っていたことが決して当たり前でないことに気づくことができました。九州ルーテル学院大学は、神の愛と恵み（恩寵）に感謝し人に仕えるという「感恩奉仕」の原点を新たな思いで受けとめ、本学の使命である「人間性を豊かに育み、確かな専門性と実践力を身につけて社会に貢献する人材を育成する」ために、日々、教育の業に励んでまいります。

募金報告

2015年11月11日
2016年7月25日まで
(五十音順)

学院創立90周年記念事業計画にご賛同いただき、そのための募金にご協力くださいまして、心からお礼申し上げます。感謝の意を込めて、ここに芳名を掲載させていただきます。今後も募金活動は続けて参りますので、な

お一層のご協力をお願い申し上げます。
2016年7月
募金委員長 林田 博文

- | | | | | | | | |
|--|---|---|--|--|---|--|---|
| <p>企業</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩崎商事様 えがお様 甲斐田ビル様 紅蘭亭様 鶴屋百貨店様 寺原自動車学校様 ハヤカワスポーツ様 フォトアートエスエスなご様 松合食品様 掲載を希望されない ご寄付者1社 | <p>一般有志</p> <ul style="list-style-type: none"> 池永 清様 猪原 智子様 上野 幸穂様 掲載を希望されない ご寄付者1名 | <p>卒業生</p> <ul style="list-style-type: none"> 阿部 史子様 荒木 亮子様 板倉 和輝様 板倉裕美子様 伊藤 昭子様 岩下 信子様 上杉麻梨子様 上野 和子様 宇野 慶子様 梅崎智河子様 大井 楓様 大森 信子様 岡 尚子様 加藤麻衣子様 葛原 民代様 桑野 睦子様 桑原由美子様 後藤 環様 齋藤 禎子様 | <p>保護者</p> <ul style="list-style-type: none"> 穴井 隆二様 岩下 房男様 江崎 貞利様 岡村菜津子様 2014年度ルーテル学院
中学校卒業生保護者
ルーテル学院中学・
高校PTA事務局様 認定こども園ルーテル
学院幼稚園マリア会様 ディアフロンテラ書齋様 ご寄付者3名 | <p>ご家族様</p> <ul style="list-style-type: none"> 藤沢 愛子様 本田 壽子様 前田サツキ様 松村 淨美様 松本久美子様 森 靖子様 渡辺 洋子様 ホビーのいばら様 関東のいばら会様 高校30回生有志一同様 掲載を希望されない ご寄付者1名 | <p>ご家族様</p> <ul style="list-style-type: none"> 坂田 菊美様 謝名堂千賀様 高畑 和子様 高見 加奈様 高村 榮子様 田中 友子様 谷口 美樹様 田畑美貴子様 中村 知子様 仲本 文雄様 西生 純子様 | <p>ご家族様</p> <ul style="list-style-type: none"> 石田 豊美様 井上 光行様 猪本 佳代様 岩崎 詳二様 岩原 由子様 岩村 昭久様 犬童 開様 上野 昭子様 植野堀正子様 上原 栄作様 浮穴 衣美様 内村 公春様 衛藤 繁様 江藤 安純様 大久保優子様 大野 雅人様 緒方 聡様 尾田 明子様 金田 左代様 狩野 敬子様 川口 武宣様 河崎 隆夫様 河津 巖様 河田 将一様 河田 翔大様 川畑 博様 菅 明美様 久我 美紀様 釘宮 香様 栗原希代子様 黒藤 司様 香崎智郁代様 坂根 裕俊様 坂口 信義様 坂本 尚子様 佐藤 静一様 塩境 二子様 島内 直英様 園田 松吾様 田川 有里様 田中 照美様 立野 マリ子様 田仲 洋介様 田村 優佳様 崔 大凡様 常定 知基様 鶴山 克郎様 朝長千恵子様 豊田 恵一郎様 | <p>ご家族様</p> <ul style="list-style-type: none"> 中野 愛梨様 永野 智子様 永野 典詞様 永守 浩之様 西山 慎一郎様 西山 隆志様 根間 貴子様 野口 知子様 野田 幸世様 橋本 尚様 濱崎 庸一様 濱田 昭吾様 日高勢津子様 百武 玉恵様 平江 美貴様 福島 佳子様 福田 恵美様 福田 茂様 福田 靖様 藤川 千穂様 藤原 べに様 古屋 四朗様 前田 貞一様 前田 知子様 前田 均様 牧 利範様 松本 睦寛様 松本 充右様 三城 大介様 水谷江美子様 水野 博子様 満崎優美子様 宮田 博司様 宮本亜希子様 宮本 和範様 武藤 哲夫様 村瀬 香様 村中 司様 村中 裕幸様 百家 裕幸様 山内 隆雄様 山田 朋様 吉田 謙様 吉村 裕子様 米田 真里様 和田 成子様 渡邊 健太様 |
|--|---|---|--|--|---|--|---|

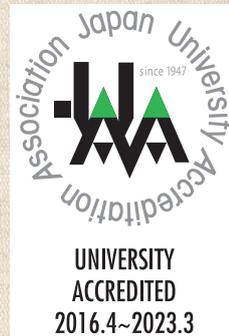
ご協力者名簿の掲載についてのお知らせ

今回の掲載につきましては、掲載に同意を得られた方のみ載せております。よって、7月25日現在で同意未確認の方は掲載しておりません。掲載の同意をいただければ次号の学院報に掲載させていただきます。なお、お気づきの点等ございましたら、下記の募金事務局までご連絡ください。
今後とも引き続き倍日のご厚情を賜りたくお願い申し上げます。 電話096-343-3111 学院総務部内 募金事務局

学院 NEWS

公益財団法人 大学基準協会による第2期目の認証評価を終えて

九州ルーテル学院大学自己点検・総合評価
前委員長 濱田 信夫



2004年度から、すべての大学(国・公・私立大学)は、教育研究等の質の保証を目的として、文部科学大臣が認証した評価機関による評価を7年以内の周期で受けることが義務づけられています。

評価の対象となるのは、大学の教育、研究、募集、就職・進路、社会貢献や組織運営および施設設備等の総合的な状況です。

九州ルーテル学院大学は、2008年度に引き続き、2015年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価(認証評価)を受審し、2016年3月に同協会が定める大学基準に適合していることを認定されました。

今回の認証評価結果を踏まえ、また、2014年にスタートした「九州ルーテル学院大学ビジョン2014」に基づく「アクションプラン」に盛り込まれた7年間の行動計画に沿って、今後も教育研究等の充実に努め、教育の質の保証に教職員が一丸となって取り組んでまいります。

和水町と包括協定締結調印式を行いました

包括的な連携のもと相互に協力し、地域社会の発展と人材育成及び学術の振興に寄与することを目的として5月30日月に包括協定を締結しました。

次に掲げる分野について、連携・協力します。

- (1) 地域づくり・まちづくりの推進に関すること
- (2) 観光振興や産業振興など地域経済の発展に関すること
- (3) 住民との協働の推進に関すること
- (4) 教育・文化の振興、生涯学習の推進に関すること
- (5) 地域の国際化・国際交流の推進に関すること
- (6) スポーツの振興に関すること
- (7) その他相互に連携協力することが必要と認められる事項



和水町との包括協定プログラム

	プログラム	時間	内容	備考
1	子ども子育て支援	通年	子育て支援の後援・研修会	地元保護者や、和水中働く保育士・幼稚園教諭を対象
2	出前講座	通年	現在、広報で実施している事業	地域住民、小・中学校教諭を対象
3	三加和地区、菊水地区の小学生対象の英語キャンプ	9月中旬～下旬	授業(小学校英語フィールドワーク)の実践活動(本学学生:約40人)	1泊2日
4	なごみ物産展inルーテル	11月3日	フィリア祭でなごみのブースを設けて、地元のPRをして頂く。	ホームカミングデー同時開催
5	子どもフェスティバル inなごみ	11月下旬	オペレッタの発表会(本学学生:約40人)	毎年実施している保育コース学生の発表会を和水中開催する。

熊本地震から4か月を経て

ルーテル学院中学・高等学校
校長 林田 博文

7月11日、パイプオルガンの響きとともに再開した礼拝堂改修記念礼拝。
熊本地震本震発生から4か月。ルーテル学院は、生徒の心と共に熊本地震を乗り越え、前に進むうとしていきます。その証が、礼拝堂での礼拝再開です。本校の誇りとすべき礼拝堂で、高校3年生と共に再開後初めての礼拝を行い、神様からの祝福と恵みを崔チャプレンの説教を通して受けることができました。



改修記念礼拝（7月11日）

現在の学院の様子は、「感謝！」の一言です。復旧工事は、九州建設様をはじめ工事関係者の皆様の働きと地域の方々の協力で順調に進んでおり間もなく完了します。未だ、生徒たちの中には、避難所での生活や仮設住宅など自宅では生活ができなかった生徒、通学時間にかなりの時間を要する生徒、家計を支える家族の地震の影響による失業や離職に不安を抱える生徒、自営業とその職場再開に不安を覚える生徒、多くの不安を抱えながら先行きの見えない生活と学校生活を送っている生徒もいます。将来の進路、特に進学への不安を抱えている生徒もいます。

そんな中にあっても、生徒たちが希望を持って前に進み、小さな光を見出していけるように願いますし、教職員と生徒が共に支え合い、明るい未来を切り開いていけるよう努力して参ります。

今、私は感謝の中に生かされていることを「実感」しています。私たちは、不安や試練、恐怖の中にいた時を、徐々に乗り越え、少しずつ普段の生活に戻ろうとしています。元氣と勇氣、平安と希望の中での生活が戻りつつあります。当たり前のことに感謝を抱きながら、前に前に進んでいます。

地震が与えたもの、地震から受けたものは、「置かれた場所でのそれぞれの『実感』」かもしれません。怖い、当たり前なことへの感謝、厳しい現実などの実感。そして、自然には太刀打ちできない実感。自然の前で人間は弱い、弱いにもかかわらず前に進む実感。何かを越えて前に進むと、一人ひとりができる社会活動を行う実感。

復旧工事で働いておられる職人さん達は額を流れ落ちる汗に、復旧と復興のための社会活動を実感されていることと想像します。私自身は何かを実感しながら生かされている自分がいることを、「実感」しています。

これからも、ルーテル学院は「生徒たちがこの学校で学びの時を持って良かった」と実感し感謝できることを誇りと喜びとして、「感恩奉仕」のもとで教育の業に励みます。



復旧工事が進む中高本館

校長室の扉を開けて廊下に出ますと目の前に、生徒作品の2枚の書が掛けてあります。一枚は、学院聖句「わたしは来たのは、羊が命を受け、しかも豊かに受けるためである」
もう一枚は、永六輔さんの歌詞、坂本九さんの歌の一節「上を向いて歩こう 涙がこぼれないように」
どちらの書が上に掛けられているか？もうお分かりですね。
校長室から出るたびに、建学の精神をあらわす「学院聖句」に勇氣と元氣をいただいております。どうせ流すなら、喜びの涙、嬉し涙とともに日々の学校生活を送ってきたいものです。

「歴史の扉」その時ルーテル学院は

九州女学院高女一回生 柿原 シズ子
(旧姓：原田)



【編集者注】2010年7月10日、清重前院長は日本福音ルーテル東京教会において柿原様にインタビューをおこないました。以下ではその一部を抜粋します。

通学

軽便鉄道の菊池電車で30分くらい乗って通いました。合志の平島の家から辻久保の駅までは自転車です。ウチよりもっと遠い齋藤（渡邊）さんが毎朝声をかけて一緒に通学したんです。当時は軽便鉄道が済々黷前まで来ていました。そこまでが市内、女学院の室園は市外。男子生徒と女子生徒は別々の箱に乗っていました。上熊本から寺原田んぼをぐるぐる回って三軒町に来たわけです。

開設当時の女学院

それは素晴らしい至れり尽くせりの学校でした。なにしろ定員たった70人、それを3組に分けたんですからね。立地から言えば、5高があって隣の済々黷、そして女学院は高台でしょう。済々黷の生徒がよく窓越し

に手を振ってましたけど、こちらから見るとね、暗くてよく分かりませんでしたね。

学費

そうですね。県立が3円で、女学院は5円でした。それにピアノのレッスンがありました。練習室がずらり並んでいましたよ。でも、ピアノを履修するにはもう3円納めましたので、私は取りませんでした。後で、保母学校に入って、女学院で習っておけばよかったです。つくづく思いましたけれど。

エカード先生の思い出

とても優しく、怖いお顔を見たことがありませんでした。日本語がお上手でした。週2回聖書を教えていただきました。主に福音書だったと思います。私の姪が昭和33年の女学院卒業なのですが、保護者会に兄が出席したおりに、顔を見るなり「貴方は、原田さんのお兄様でしょう」とズバリ当てられたそうです。初対面なのに不思議なことと思えました。そんなに私たちが似ているんでしょうか（笑）。

村上先生の思い出

立派な先生でした。実質的には校長先生。後に東京でお昼ご飯をごちそうになりました。いまの新宿のアルタ、昔の二幸のレストランです。先生が東京ご出張の折でした。村上先生のお嬢さんは成績の素晴らしい方で、奈良の女子師範へ進まれました。

牧野先生の思い出

とってもまじめな先生で、姿勢を正して事務をなさっている後姿がいまでも目に浮かびます。当時もう白髪が印象的でした。

パッツ先生の思い出

パッツ先生が英語を教えてくださいました。私はビリッカスでしたけど（笑）。後年代々木教会の熊谷牧師夫人のアイナ先生に、あなたは発音がきれいだと褒められました。やっぱり昔の女学院の英語教育のおかげですね。

キリスト教教育

毎日礼拝があって、クリスチャンの先生方が交代でお話を下さっていました。毎週水

曜日には、水道町教会の石松量三先生が説教の担当で、その日は放課後希望者を募って聖書の勉強会を続けてくださいました。私も数名の仲間に加わって学びました。そうして石松先生から洗礼を受けました。一緒に19人受けました。先生はお目が不自由なのに、私たち一人ひとりの名前を間違えずに呼んで下さったんです。

女学院卒業後

担任の岩城先生が、東京の「福音教会」の保母養成学校を薦めて下さいますね。たまたま募集の知らせが学校に届いたんです。貴女は洗礼を受けているし、キリスト教の幼稚園で働いてはどうかというお話でしたから、それは望むところでした。私はチビでしたから、馬鹿にされない幼稚園がいいなと思ってたもんですから（笑）。昭和6年のことでした。

「歴史の扉」その時ルーテル学院は

九州女学院高女10回生 三好 さえ (旧姓：坂口)

【編集者注①】2012年6月13日、清重前院長は三好様にインタビュをおこないました(於大牟田市内三好様宅)。以下ではその一部を抜粋します。

エカード先生

1年生の時、エカード先生が週1回、聖書の授業を担当していました。先生はいつの間にか生徒一人一人の名前を憶えていました。例えば先生は「礼拝の時、〇年×組の生徒の顔色が悪かったから注意しておくよ」と言っていました。

エカード先生は勝ち負けや他の学校との競争を好みませんでした。例えば運動会の時、1等になったら赤いリボン、2等は紫のリボンといった具合に区別しました。よその学校との競技もありませんでした。学院内での卓球大会が一度だけあり、私はクラス代表として出場しました。

寮母としての大橋先生

大橋先生はしつげが厳しく、私はしょっちゅう怒られていました。ある時、私にご飯粒をちよっと横に出したんですよ、

もみ殻がついていたので。そして、向こうの方から大橋先生が「あんたはそういうのを出すから体が弱いよ。なんでも食べなきゃ」と怒りました。

礼拝

月曜日は福田令寿先生が(学院に)いらつしゃって、礼拝、及び衛生講話を担当しました。木曜日は英語礼拝でした。英語の讃美歌が置いてありました。司会も英語の先生が、たしか4人くらいでしたが、交互におこないました。お祈りも司会も全部英語でした。生徒たちは皆、その内容も大抵わかっていました。讃美歌も歌っていました。あれはよかったです。土曜日の司会者は洗礼を受けていた生徒でした。例えば、牧師の娘さんとか。

1時間目が終わったら、全校生徒は並んで静かに移動しました。ピアノは音楽の先生が担当していました。5年生のなかから選ばれた生徒たちが1週間交代の当番制でオルガンを弾いていました。

土曜日の発表会

全生徒が講堂に集まって、各組から一人ずつ発表をおこないました。司会は5年生でした。何をしてもよく、詩を朗読したり、歌を歌ったり、ピアノを弾くなど、自分がしたいことをアピールしました。最後に先生が批評をおこないました。発表の内容について、司会について。良かったところを褒めてくれました。ああいうのがほんとに良かったと私は思います。個性を伸ばしてくれました。

【編集者注②】寮生であった

三好様は母の日に寮母である大橋先生にアルバムを送りました。下記の写真はそのアルバムの一部になります。当時の寮生でお金を出し合い、三好様が千徳百貨店で購入したそうです。右下には「昭和拾四年五月十四日(第二日曜)母の日に女學院寮五十五名の皆様より戴く 寮母大橋八重 四十八才」と記されています。このアルバムは現在、学院資料室に保管されています。



アルバム

平成 28 年熊本地震におけるご寄付のお願い

～学校法人九州ルーテル学院 熊本地震 復興支援基金の設置～

本学院では、就学支援や施設設備の復旧工事などの費用の一助とすることを目的に「学校法人九州ルーテル学院 熊本地震 復興支援基金」を設置しました。本学院を愛するすべての皆さまの温かいご支援をお願い申し上げます。

学校法人九州ルーテル学院
理事長 坂根信義
院長 内村公春

学校法人九州ルーテル学院 熊本地震 復興支援基金について

【基金の目的】 (1) 被災学生・生徒・園児への学費減免措置
(2) 施設設備の復旧工事

【寄付の方法】 「現金」「銀行振込」「インターネット決済」のいずれかをお選びいただけます。

■「現金」の場合 学院総務部で受付いたします。

■「銀行振込」の場合 最寄りの金融機関備付けの振込用紙で、下記の取扱指定金融機関の口座宛にご送金ください。

肥後銀行 子飼橋支店 普通預金	口座番号 2061879
熊本銀行 子飼橋支店 普通預金	口座番号 3061143
熊本第一信用金庫 清水支店 普通預金	口座番号 0197264

※口座名義はいずれも「学校法人九州ルーテル学院 熊本地震 復興支援義援金 理事長 坂根信義」となります。

※学院所定の振込用紙も準備しております。総務部 (Tel 096-343-3111 又は shomu@klc.ac.jp) にご連絡いただきましたら郵送させていただきます。

■「インターネット決済」の場合

本学院 Web サイト (<http://kluther-gakuin.jp/>) で、クレジットカード決済、コンビニ決済、インターネットバンキング (ペイジー) のいずれかをご利用いただけます。

※大学及び、中高の Web サイトからもリンクされております。

ご不明な点はこちらへお尋ねください

九州ルーテル学院 総務部

TEL096-343-3111
shomu@klc.ac.jp

会計報告

本法人の2015年度決算は、表のようになりました。より詳しい報告は、大学ウェブサイト「情報公開」の「財務報告書」と「事業報告書」をごらんください。

事業活動収支計算書は、企業会計の損益計算書に相当します。基本金組入前当年度収支差額は (経常利益に相当) 67000 万円となり前年度決算より約520 万円の増額となりました。

収入の基礎となる園児・生徒・学生の募集は順調です。また、借入金無しに、中高駐輪場、認定こども園2期工事、黒髪乳児保育園屋上トイレ設置等、総額2億3000万円の施設設備投資を実施しました。このようにして、園児・生徒・学生の授業料は確実に教育の改善と財務体質の強化に活かされています。感謝してご報告します。(事務局長・百家裕幸)

消費収支計算書

2015年4月1日から2016年3月31日まで(単位:千円)

科目		決算額
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	1,295,170
	手数料	30,613
	寄付金	5,510
	補助金	590,285
	国庫補助金	84,558
	地方公共団体補助金	505,727
	資産運用収入	0
	資産売却差額	0
	付随事業収入	60,382
	雑収入	42,219
事業活動支出の部	教育活動収入計	2,024,178
	教育活動収入計	1,348,824
	教育研究経費	457,229
	管理経費	166,382
	徴収不能額等	3
	教育活動支出計	1,972,438
	教育活動収支差額	51,740
	受取利息・配当金	350
	その他の教育活動収入	0
	教育活動外収入計	350
特別収入	借入金等利息	9,253
	その他の教育活動外支出	0
	教育活動外支出計	9,253
	教育活動外収支差額	△ 8,903
	経常収支差額	42,837
	資産売却差額	387
	その他の特別収入	24,340
	特別収入計	24,727
	資産処分差額	0
	その他の特別支出	0
特別支出計	0	
予備費	特別収支差額	24,727
	基本金組入前当年度収支差額	67,565
	基本金組み入れ額合計	△ 350,537
	等年度収支差額	△ 282,972
	基本金取崩額	0
参考	翌年度繰越収支差額	△ 2,030,333
	事業活動収支計	2,049,255
事業活動支出計	1,981,690	

貸借対照表

2016年3月31日現在(単位:千円)

科目		年度末
資産の部	固定資産	4,780,368
	有形固定資産	4,525,775
	土地	1,466,148
	建物	2,232,038
	その他有形固定資産	827,590
	特定資産	246,000
	その他の固定資産	8,593
	有価証券	50
	その他の固定資産	8,543
	流動資産	536,133
負債の部	現金預金	425,194
	その他の流動資産	110,939
	資産の部合計	5,316,501
	固定負債	716,761
	長期借入金	443,380
	その他固定負債	273,381
	流動負債	209,699
	短期借入金	61,754
	その他流動負債	147,945
	負債の部合計	926,460
基本金	基本金	6,420,374
	第1号基本金	6,291,374
	第4号基本金	129,000
	繰越収支差額	△ 2,030,333
純資産の部合計	4,390,041	
負債及び純資産の部合計	5,316,501	

Luther
ルーテル学院報 (時報)
No.10

発行 学校法人 九州ルーテル学院
発行日 2016年8月31日
編集 ルーテル学院報編集委員会
印刷 株式会社 熊本支店

ご意見・ご感想は編集委員会まで

〒860-8520
熊本市中央区黒髪3-12-16
TEL.096-343-3111
shomu@klc.ac.jp